

Eisen

鉄

철

chuma

เหล็ก

铁

железо

可部テツモノガタリ

fer

hierro

Eisen

Ferro

ijzer

Besi

Demir

iron

可部の三大産業の一つである

「鋳物」。

令和7年度、可部公民館では「鋳物」を含めた「鉄」についての歴史を学ぶ講演会を全4回の日程で開催します。

各回の日程や詳細は裏面をご覧ください。

(公財)広島市文化財団 可部公民館

☎(082)814-4031

〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目19番22号(安佐北区総合福祉センター 7階)

※受付時間：午前8時30分～午後5時15分(木・金は午後9時まで)

※休館日：火曜日・8/6・12/29～1/3・祝日(火曜が祝日の場合はその直後の平日)

可部テツモノガタリ

第1回目：令和7年（2025年）**12月21**日（日）14:00～16:00 会場：可部公民館

「古代から中世の鉄」

講師：比治山大学現代文化学部 教授 安間 拓巳 さん

内容：わが国における製鉄技術の到達点である近世たたら製鉄が成立するまでには、1000年以上にわたる長い試行錯誤の歴史がありました。遺跡の調査成果や文献史料から、その間における鉄づくりの発展や展開の様子について見ていきます。

第2回目：令和7年（2025年）**12月27**日（土）14:00～16:00 会場：可部公民館

「近世から近代の鉄」

講師：広島市郷土資料館 主任学芸員 玉置 和弘 さん

内容：芸北を中心にたたら製鉄が盛んだったことから、近世の可部では鉄産業、とりわけ梵鐘制作などの鑄物業が盛んになり、近代に入ってから五右衛門風呂が作られていきました。鑄物産業を中心に、近世・近代の可部の鉄をひもときます。

第3回目：令和8年（2026年）**1月19**日（月）14:00～15:00 会場：可部公民館

「現代から未来の鉄—友鉄工業編—」

講師：友鉄工業株式会社

内容：時代と共に成長する鑄物屋。可部の地で創業し、67年。伝統、技術を大事にしつつ、新たな技術も取り入れ、ものづくりの楽しさ、環境への配慮等、様々な取り組みを行っています。今回の講演ではそれらの取り組みについて、紹介します。

第4回目：令和8年（2026年）**1月26**日（月）14:00～16:00 会場：大和重工株式会社

「現代から未来の鉄—大和重工編—」

講師：大和重工株式会社

内容：2026年に創業195周年を迎える大和重工は、鉄とともに暮らしと産業を支えてきました。本講演では、鑄物づくりの歩みを振り返りながら、現代における役割と未来への展望を語ります。“五右衛門風呂”が今も支持される理由や、宿泊施設・住宅での活用事例を通じて、鑄物文化の再評価と新たな価値創造の可能性を探ります。

日 時：12月21日（日）、12月27日（土）、1月19日（月）、1月26日（月）

会 場：第1回目、第2回目、第3回目：可部公民館 7階 研修室1

第4回目：大和重工株式会社本社 3階 大会議室

参加費：無料 定 員：30人（申込先着）

対 象：どなたでも（全4回に参加できる方）

申し込み：可部公民館へ電話（☎082）814-4031）か来館で

主 催：（公財）広島市文化財団 可部公民館

協 力：大和重工株式会社、友鉄工業株式会社、広島市郷土資料館